

和歌山縣報

第四百二十八號

大正六年一月九日
火曜 日

○縣令

○和歌山縣令第一號

大正五年^月縣令第四號和歌山縣稅賦課規則中左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ施行ス
大正六年一月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

第三條中ノ「屠宰稅」ヲ削ル
第四條第二項ヲ左ノ通改ム

雜種稅中海面遊漁、河川漁業中鱚漁其ノ他漁業ハ四月一日河川漁業中鮎免許漁業、鮎許可漁業、
其他鮎漁ハ六月一日牡蠣、河川採藻ハ十月一日ヲ以テ賦課期日トシ全額ヲ一時ニ賦課ス
第六條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ場合ニ於テ錢位未滿ノ端數切捨ノ爲總額ニ不足ヲ生スルトキハ其ノ不足額ハ適宜各自ノ等級課額ニ配分スヘシ

第六條第三項中「前項」トアルヲ第二項ト改ム
第九條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第九條ノ二 市町村會ニ於テ等級課額ヲ議定シタル年稅ヲ納ムル者ニシテ前期内ニ納稅義務消滅

シタル場合ハ後期ノ稅金ヲ徵收セス

第十五條第一項第三號ヲ左ノ通改ム

木挽、石切、炭焼等ノ爲山野ニ小屋掛ヲ爲シ他ニ收入ナク其ノ收入ヲ以テ炊爨ヲ爲ス者

第二十六條第二項ヲ左ノ通改ム

課稅標準ノ異動ニ依リ稅額ノ増加スヘキ理由ノ生シタルモノハ其ノ差額ヲ年稅ハ其ノ月ヨリ月割
ヲ以テ賦課シ月稅ハ當月十六日以彼ナルトキハ其ノ半額ヲ賦課ス

第三十四條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三十四條ノ一 織布ノ下受ヲ爲ス俗ニ引機ト稱スルモノニハ工業稅ヲ課ス

第三十八條第八號ヲ左ノ通改ム

雜菓子、鹽、煮豆、果物、飴、豆腐、牛肉、味噌、魚鳥類ヲ呼賣スル者

○和歌山縣令第二號

重要物產同業組合取扱規程左ノ通相定ム

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年一月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

重要物產同業組合取扱規程

第一條 本規程ハ重要物產同業組合法ニ依リ設置シタル同業組合及同業組合聯合會ニ之ヲ適用ス

第二條 地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ニシテ組合ニ加入セサルモノアルトキハ組長ハ其住所營業所氏名及職業ヲ届ケ出ツヘシ

第三條 組合會又ハ總會ヲ開カムトスルトキハ一週間前ニ其ノ期日場所及會議ノ事項ヲ届ケ出ツヘシ但シ緊急ヲ要スル場合ニハ事由ヲ具シテ此期間ヲ短縮スルコトヲ得

第四條 營業品検査ノ爲検査所ヲ設ケタルトキハ其位置ヲ届ケ出ツヘシ

第五條 役員就任認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、役員ノ氏名、住所、職業及選任年月日

二、就任事由

三、前任者退任事由及其ノ年月日

第六條 定款變更認可申請書ニハ變更條項ニ相當スル原條項全文ヲ別紙ニ記載添付スヘシ

第七條 經費豫算ハ第一號様式、經費賦課徵收方法ハ第二號様式ニ準シテ調製スヘシ

第八條 經費決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ附スヘシ

第九條 業務成績報告書ハ第三號様式ニ準シテ調製スヘシ

第十條 借入金ヲ爲ストキハ豫算ノ外起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付キ組合會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

前項ノ議決ハ知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第十一條 左ノ書類ハ總テ二通ヲ提出スヘシ

一、設置認可申請書

二、定款變更認可申請書

三、經費豫算並徵收方法認可申請書

四、經費ノ決算及業務成績ノ報告書

五、主タル事務所ノ位置届書

六、定款ノ施行ニ關スル規則届書

七、解散ノ認可申請書

第十二條 賦課金其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ之レヲ豫算ニ編入スヘシ

第十三條 歲入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ルヘシ

一、納期ノ一定シタル收入ハ其納期末日ノ屬スル年度

二、隨時ノ收入ニシテ納額告知書ヲ發スルモノハ之ヲ發シタル日ノ屬スル年度

三、隨時ノ收入ニシテ納額告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

第十四條 歲出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ルヘシ

一、費用辨償、報酬、給料、手當、旅費、退職又ハ死亡給與金其ノ他ノ給與備人料ノ類ハ其支給スヘキ事實ノ生シタル日ノ屬スル年度

二、建築費通信運搬費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

三、前各號ニ掲ケタルモノヲ除ク外ハ總テ支拂義務ノ生シタル日ノ屬スル年度

第十五條 事業費ハ歲出豫算總額ノ三分ノ一以上ヲ計上スヘシ

第十六條 經費豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 經費豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ス但シ款内各項ノ金額ハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第十八條 各年度ニ於テ歲計剩餘金アルトキハ之ヲ基本金又ハ積立金ト爲ス場合ノ外翌年度ノ豫算

ニ編入スヘシ

第十九條 賦課金、手数料、過怠金、違約金等ノ收入ハ總テ納額告知書ニ依リ收入スヘシ但シ賦課金ニ付テハ定款ニ別段ノ定メアルトキハ此限ニ在ラス

第二十條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スヘシ

第二十一條 會計事務ハ組長ノ命シタル會計主任ニ於テ之ヲ取扱フヘシ但シ組合又ハ聯合會ノ狀況ニ依リ組長自ラ之ニ當ル事ヲ得

第二十二條 賦課金、手数料、過怠金、違約金等ノ收入ヲ徴收セムトスルトキハ第四號様式ノ徴收臺帳ニ收入金額ヲ調査登記シ第五號様式ノ納額告知書ヲ作り納期日十五日前ニ各納人ニ交付スヘシ納額告知書ノ發行期日ニ付定款ニ別段ノ定メアルモノハ前項ノ期日ニ依ルコトヲ要セス

第二十三條 會計主任收入金ヲ受領シタルトキハ領收證書ヲ交付シ徴收臺帳ニ相當登記ヲ爲スヘシ

第二十四條 會計主任ハ日々領收シタル收入金ハ第六號様式ノ歳入内譯簿ニ登記スヘシ

第二十五條 收入金ノ納期限ヲ過キ完納セサル者アルトキハ七日以内ニ於テ期日ヲ指定シ督促スヘシ

第二十六條 會計主任ハ組長ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第二十七條 會計主任ハ支拂命令ニ基キ支拂ヲ爲シ領收證書ヲ徴收スヘシ但シ領收證書ヲ徴シ得サルモノアリテハ支拂證明ヲ爲スヘシ

第二十八條 會計主任ハ日々領收證書又ハ支拂證明書ニ依リ第七號様式ノ歳出内譯簿ニ登記スヘシ

第二十九條 會計主任ハ日々出納スル一切ノ金員ヲ計算シ第八號様式ノ日計簿ニ記入スヘシ

第三十條 身元保證金信託金ノ類及一時取扱金ハ第九號様式ノ臺帳ヲ調製シ整理スヘシ

第三十一條 財産ハ第十號様式ノ財産原簿ヲ調製シ整理スヘシ

第三十二條 借入金ヲ爲シタルトキハ第十一號様式ノ借入金臺帳ヲ調製シ整理スヘシ

第三十三條 出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査ヲ行ヒ且毎會計年度内少クトモ二回臨時検査ヲ行フヘシ
検査ハ組長之ヲ行ヒ臨時検査ハ組合會又ハ總會ニ於テ豫メ選舉シタル組合員二名以上ヲ立會ハシムヘシ

第三十四條 出納ハ會計年度經過後二月限閉鎖スヘシ

第三十五條 出納ニ關スル事務ハ出納閉鎖後二十日以内ニ結了スヘシ

第三十六條 會計主任ヲ置カス組長ニ於テ會計事務ヲ取扱フ場合ハ本規程中組長ト會計主任トノ關係規定ハ之ヲ適用セス其會計主任ニ關スル規定ハ組長ニ準用ス

第三十七條 部ヲ設ケタル組合ニシテ各部限リ出納ヲナス場合ニ於テハ會計ニ關スル組長ノ職務ハ定款ノ定ムル處ニ從ヒ部長之ヲ行フヘシ但シ臨時検査ハ此限ニアラス

前項ノ場合ニ於テハ第三十三條ノ臨時検査立會員ハ部會又ハ部總會ニ於テ選舉スヘシ

第三十八條 重要物產同業組合法重要物產同業組合法施行規則又ハ本規程ニ依リ農商務大臣又ハ知事ニ提出スヘキ書類ハ總テ主タル事務所々在地ノ郡市役所ヲ經由スヘシ
但シ區域數郡市ニ涉ル同業組合聯合會ハ此限ニ在ラス

附 則

第三十九條 第三十三條ノ検査立會員ハ本規程施行後ノ組合會又ハ總會ニ於テ選舉スル迄之ヲ要セス

第四十條 第四號乃至第十一號様式ハ本規程施行後ニ於ケル事業年度開始ノ時ヨリ之ヲ適用ス

(第一號樣式)

大正何年度何同業組合經費豫算總計表

歳入

一金何程

歳入豫算額

歳出

一金何程

歳出豫算額

歳入出差引ナシ

備考

一變更豫算ハ既定豫算額ト追加又ハ更正豫算額トヲ併記スヘシ

一決算ハ豫算額ト決算額トヲ併記シ歳入出差引剩餘金ノ下ニハ其處分方法ヲ記載スヘシ

大正何年度何同業組合經費豫算表

歳入

科目

本年度豫算額 前年度豫算額

比較
増減

附

記

第一款 賦課金

第一項 戸數割

戸數何戸一戸平均何程等級ニ依リ賦課スルコト徴收法ノ通

第二項 生産割				生産總數何個一個ニ付何程
第三項 營業割				營業稅總額何程壹圓ニ付何程
第四項 何々				(前項ノ例ニ準シ記入スルコト)
第二欸 手數料				
第一 檢査手數料				製品檢査何個一個ニ付何程
第二項 何々手數料				(前項ニ準シ記入スヘシ)
第三欸 章標料				
第一項 檢査標章料				何枚一枚ニ付何程
第二項 表札料				何枚一枚ニ付何程
第三項 何々				(前項ニ準シ記入スヘシ)

第四款 財産收入	第一項 基本財産收入	第二項 積立金收入	第三項 土地收入	第四項 建物收入	第五項 何々	第五款 補助金	第一項 縣補助金	第二項 郡補助金	第三項 何補助金
	基本財産金何圓銀行預入年何分利子	何々積立金何圓郵便貯金年何分利子	田(畑、宅地等)何段何畝歩一反歩ニ付何程貸地料	何々建坪何坪一坪ニ付何程賃貸料	(前項ニ準シ記入スヘシ)		何々事業ノ爲縣ヨリ補助ヲ受クル見込	(前項ニ準ス)	(全上)

第六款 寄附金					
第一項 寄附金					何某ヨリ何圓何某ヨリ何圓寄附金
第二項 指定寄附金					何事業ノ爲何某ヨリ指定寄附金
第七款 繰入金					
第一項 基本財産繰入金					基本財産ヨリ繰入
第二項 何積立金ヨリ繰入金					何積立金ヨリ繰入
第八款 雜收入					
第一項 利子					經費銀行預金年何分利子
第二項 過年度收入					何年度戸數割何人分一人付何程此金何程何年度生産割何個分一個ニ付何程此金何程何々此金何程
第三項 不用品拂代					何々何個賣拂此金何程何々賣却此金何程

歲出 經常費

合計	第一項 入何金借	第十款 借入金	第一項 前年度 繰越金	第九款 繰越金	第四項 過怠金
	何々ノ爲借入		前年度經費剩餘金		過怠金何人分

科目

本年度豫算額 前年度豫算額

對 比
増 減

附

記

第一款 事務所費

第一項 報酬

組長何程 副組長何人一人何程 此金何程 評議員何人一人何程 此金何程

第二項 實費 辨償	組長何圓副組長何程
第三項 俸給	書記何人一人月給平均何程
第四項 旅費	役員及職員旅費何程
第五項 雜給	小使何人一人月給平均何程此金何程 臨時雇延何人一人平均何程此金何程 職員惠與何程
第六項 需要費	備品費官職代何程何器新調費何程何 器修繕費何程圖書費何程消耗品費筆 紙墨代何程薪炭油代何程何々何程
第七項 雜費	通信運搬費何程印刷費何程電話費何 程電燈費何程借家賃何程其々他雜費 何程
第二款 會議費	
第一項 組合 費	開會何回議員延何人日當一人二付何 程此金何程車馬賃延何里一里二付何 程此金何程
第二項 評議員 會費	開會何回評議員延何人日當一人二付 何程此金何程車馬賃延何里一里二付 何程此金何程
第三項 雜費	消耗品費何程印刷費何程通信運搬費 何程何々何程其々他雜費何程

第三款 事業費

第一項 檢査員費

檢査員何人一人月給平均何程此金何程旅費何程

第二項 檢査雜費

檢査証何程此金何程檢査器具費何程消耗品費何程其ノ他雜費何程

第三項 販路擴張費

販路調査費何程巡回販賣費何程博覽會共進會等出品費

第四項 獎勵費

事業功勞者表彰費何人一人ニ付平均何程此金何程優良職工表彰費何人一人ニ付平均何程此金何程

第五項 試驗費

技術員何人一人月給平均何程此金何程旅費何程備品費何程消耗品費何程運搬費何程其ノ他雜費何程何々機械購入補助一臺ニ付何程此金何程何々補助何程

第六項 補助費

何々機械購入補助一臺ニ付何程此金何程何々費補助何程

第四款 借入金償却費

第一項 借入金償却費

何々借入金ノ内本年度償却元金何程利子何程

第二項	一時借入金 子金利	一時借入金何程ニ對スル利子
第五款	財産費	
第一項	蓄積費	基本財産蓄積費
第二項	積立金	事務所建築費積立金
第六款	豫備費	
第一項	豫備費	豫算不足及豫算外ノ支出ニ充ツ
合計		

大正何年度何同業組合經費豫算説明

歳入

第一款 賦課金ニ於テ前年度豫算ニ比シ金何程増加(減少)セルハ第一項戸數割ニ於テ何々ノ理由ニ依リ金何程營業稅割ニテ何々ノ理由ニ依リ金何程各増加(減少)セルモ生産割ニテ何々ノ理由ニ依

リ金何程減少(増加)セルニ由ル

二款 以下右ニ準ス

歳 出

第一款 事務所費ニ於テ前年度豫算ニ比シ金何程増加(減少)セルハ報酬ニテ何々ノ理由ニ依リ金何程俸給ニテ何々ノ理由ニ依リ何程雜給ニ於テ何々ノ理由ニ依リ金何程雜費ニテ何々ノ理由ニ依リ金何程ヲ各増加(減少)セルモ實費辨償ニテ何々ノ理由ニ依リ金何程需要費ニテ何々ノ理由ニ依リ金何程ヲ各減少(増加)セルニ依ル

第二款 以下右ニ準ス

備考

一、歳入及歳出ヲ經常臨時ノ二部ニ區別スルハ適宜トス

一、科目中節目數多ニ涉リ細分ヲ要スルモノハ項以下適宜目ヲ設クルモ妨ケナシ

一、豫算ノ變更ヲ要スルトキハ「本年度豫算額」ノ欄ヲ追加(更正)豫算額「トシ」前年度豫算額ノ欄ヲ「既定豫算額」トシ追加豫算ニ付テハ「對比増減」ノ欄ヲ合計トスヘシ

一、決算ニハ「本年度豫算額」ノ欄ヲ「決算額」トシ「前年度豫算額」ノ欄ヲ豫算額トスヘシ

一、附記欄ニハ豫算變更ノ場合ヲ追加額又ハ更正額ノ計算ノ基礎ヲ決算ノ場合ニハ決算額ノ計算ノ基礎ヲ記入スヘシ

一、説明ニ付テハ豫算變更ノ場合ハ既決豫算額ニ對スル追加又ハ更正ノ理由ヲ決算ノ場合ハ豫算額ニ對スル増減ノ理由ヲ豫算説明ニ準シ記載スヘシ

(第二號樣式)

大正何年度何同業組合經費徵收方法

第一條 戶數割ハ其ノ標準ニ依リ賦課スルモノトス

等級	賦課標準	課率 一人ニ付 賦課額	人員	合計金額
一等	國稅營業稅百圓以上ヲ納ムル者 (年額壹萬圓以上ヲ生産スル者)	一人ニ付 一〇〇圓 壹圓	何人	何程
二等	國稅營業稅七拾圓以上ヲ納ムル者 (年額七千圓以上ヲ生産スル者)	一人ニ付 七〇圓	何人	何程
三等	國稅營業稅五拾圓以上ヲ納ムル者 (年額五千圓以上ヲ生産スル者)	一人ニ付 五〇圓	何人	何程
四等	右ニ準ス			
五等	全			
合計			何人	何程

前項ノ營業稅額(生産額)ハ大正何年末ノ現在ニ依ル
第二條 生産割ハ左ノ標準ニ依リ賦課ス

一、總生産箱數何程 一箱ニ付金何程賦課此總賦課金何程

前項生産額ハ大正何年末現在ニ依ル

第三條 營業稅額ハ左ノ標準ニ依リ賦課ス

一、總營業稅額何程 壹圓ニ付何厘何毛賦課此總賦課金何程

前項ノ營業稅額ハ大正何年末現在ニ依ル

第四條 賦課金ハ年額ヲ左ノ何期ニ分テ各其月末日限り之ヲ徵收ス但シ脫退シタル組合員ニ對シテハ其時々之ヲ徵收シ徵收期限經過後新ニ加入シタル組合ニ對シテハ組長ニ於テ其徵收期限ヲ定ム

第一期 四月

自四月一日
至九月三十日

第二期 十月

自十月一日
至翌年三月三十一日

第五條 賦課金ハ各納期月初日ノ現在組合員ニ賦課ス

第六條 脫退シタル組合員ニ對シテハ其ノ届出ノ日ノ屬スル期分ハ之ヲ徵收ス

第七條 新ニ加入シタル組合員ニ對シテハ加入ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ徵收ス

第八條 檢査手數料ハ一個ニ付金何程トシ檢査申告ノ際之ヲ徵收ス

第九條 檢査標章料ハ一枚ニ付金何程トシ交付ノ際之ヲ徵收ス

第十條 表札料ハ一枚ニ付金何程トシ交付ノ際之ヲ徵收ス

第十一條 第一條乃至第三條ノ賦課金第八條ノ檢査手數料及第九條ノ檢査標章料ノ算出上錢位未滿

ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツ

(第三號樣式)

大正何年度何同業組合業務成績

一、組合員

營業別	本年度	前年度	對比		附記
			増	減	
製造業					
販賣業					
何々					
合計					

備考

附記欄ニハ年度内加入脱退死亡等各人員ヲ記載スヘシ

營業別ハ定款規定ノ區別ニ依ルヘシ

二、生産製造又ハ販賣ノ數量並價格

營業品 種類別	生産製造又 販賣數量	價格 單價	營業品 種類別	生産製造又 販賣數量	價格 單價	對 比
本年			前年			
増			減			
數量			價格			
價格			數量			
數量			價格			
價格			數量			

備考

生産製造又ハ販賣業者ヲ以テ組織スル組合ニ在リテハ生産製造又ハ販賣ノ數量並ニ價格ハ之ヲ別表ニ記載スルコト

[illegible]

三、營業品ノ検査成績

輪 出 向				地 向				
計				計				檢 查 品 種 類 檢 查 總 數 量
								合 格
								不 合 格
								常 時
								臨 時
								檢 查 員 數
								檢 查 ノ 延 日 數

總計

備考

營業品ニ付等級ヲ定ムル場合ニ在リテハ合格欄ニ等級別ニ數量ヲ記載スヘシ
但シ定款所定ノ最低限度ニ達セサル製品ハ不合格欄ニ記載スヘシ不合格品ニ付テハ其主因及
不合格品ノ處分ノ狀況ヲ記載スルコト

四、檢査施行ノ狀況及檢査ノ營業品ニ及ホシタル効果

五、營業ニ關スル商況

備考

營業ノ盛衰商品需要供給ノ關係價格ノ高低販路輸出先ノ狀況等詳細記述スヘシ

六、經費徵收ノ情況

備考

經費豫算並賦課徵收方法ニ依リ賦課セシ經費ノ徵收ニ付豫算ニ比シ實收入ノ過不足及其金額
事由滯納者アラハ其人員滯納金額滯納者ニ對スル處分ノ顛末ヲ記載スヘシ

七、違約處分

備考

違約處分ヲ爲シタル員數處分ノ種類及其事由ヲ記載スヘシ

八、調停及仲裁判斷

備考

調停又ハ仲裁判斷ヲ爲シタル事由及顛末ヲ記載スヘシ

九、組合未加入者ノ狀況

備考

未加入者ニ對シ訴ヲ提起シタルトキハ其顛末ヲ記載スヘシ

十、以上ノ外業務執行ノ情況及其成績ヲ認ムルニ付必要ナル事項

一、基本財産積立金及信認金等ノ狀況

イ、基本財産

大正何年度末現在

内 譯

現金

金 何 程

何々國債証券

額面金何程

何々債券

全 上

山林(田)(畑)

面積何程

ロ、積立金

大正何年度末現在

内 譯

何々建築資金積立

金 何 程

何々 積立

金 何 程

ハ、信認金何程

大正何年度末現在

備考

前記一號乃至十一號中該當スヘキモノナキ事項アラハ其旨明記スヘシ

營業其他物産ニ關シ組合又ハ聯合會ニ於テ調製シタル統計ハ業務成績ニ添付スヘシ

(第四號樣式)

賦課金徵收臺帳(戶數割ノ例)

番號	第一期	第二期	等級	納人
一	金何程 年月日領收印 内金何程過納ニ付月日 拂戻印	金何程 内金何程年月日領收印 金何程年月日領收印		何町村 何 某
二				
三				

備考

- 一、徵收期ノ欄ハ其回数ニ從ヒ適宜増減スヘシ
- 一、番號ハ納額告知書ノ番號ヲ記入スヘシ
- 一、生産割營業稅割等ハ本樣式ニ準シ各別冊トスルカ又ハ相當口座ヲ設クヘシ
- 一、使用料手数料其他ノ收入ニシテ本樣式ニ依リ難キモノハ適宜調製シ別冊トナスヘシ
- 一、各臺帳ノ末尾ニハ左ノ整理表ヲ付スヘシ

(整理表)

告知書發布月日	告知書發布額	收入年月日	收入額	收入未済額	摘要
月 日	何 程				何某外何名
		月 日	何 程	何 程	何某外何名
通 計	何 程		何 程	何 程	何某外何名

備考

一、本表ハ各賦課金其ノ他ノ收入金ニ付各別ニ調製スヘシ

(第五號様式)

納額告知書

第 號

何 町 村

何 某 納

大正何年度

何割(手数料)
何々

第 何 期
(賦課金ニ限ル)

一金 何 程 也

何年月日領收

右大正何年何月何日限本組合へ納入セラルヘシ

年月日

何同業組合

組長 何 某 印

第 號

何 町 村

何 某 納

大正何年度

何割(手数料)
(何々)

第 何 期
(賦課金ニ限ル)

一金 何 程 也

收 領
右正ニ領收候也

証

年月日

何同業組合

會計主任何某印

(第六號樣式)

歲入內譯簿
第一款 賦課金

[illegible]

第一欸 第一項 戶數割

年月日	摘要	豫算額	收入額	殘額
-----	----	-----	-----	----

備考

一、本簿ハ豫算科目毎ニ口座ヲ設クヘシ

一、年度内一時借入金ヲナシタルトキハ本様式ニ準シ其口座ヲ設クヘシ

(第七號様式)

歳出内譯簿

第一款 事務所費

年 月 日	摘 要	豫 算 額	支 拂 額	残 額

第一款 第一項 報酬

年 月 日	摘 要	豫 算 額	支 拂 額	残 額

備考

一、本簿ハ歳入内譯簿ト共ニ一冊トシ口座ヲ設クルモ妨ケナシ

(第八號様式)

日 計 簿

年 月 日	摘 要	收 入 額	支 拂 額	差 引 現 在 額
小 計				
通 計				

備考

一、小計通計ハ毎日記入スヘシ但シ收入支出共無キ日ハ此限ニアラス

(第九號様式)

身元保証金(信託金)臺帳

年月日	事由	供託		年月日	事由	還付		氏名
		金額						

一時取扱金臺帳

年月日	摘要	收入	支出	現在高

(第十號様式)

財産原簿

「土地建物有價証券ノ部」

種	類	事	由
何郡市町村大字何何番		大正何年何月何日代價何程ヲ以テ何郡市町村某ヨリ買入	
一田反別	何程		
此價	何程		

備考

一、建物及有價証券ハ此例ニ依リ詳細記入ノコト

一、本簿ハ土地ハ一筆毎建物ハ一棟毎有價証券ハ種類毎(買入ノ都度)ニ一葉ヲ要ス

「金員ノ部」

備考

一、各種積立金ハ其種類ヲ異ニスル毎ニ本様式ニ準シ調製スヘシ

「備品ノ部」

		年 月 日
		摘 要
		收 入 額
		消 費 額
		現 在 額

備考

一、本簿ハ備品ノ種類毎ニ口座ヲ設クヘシ

		年月日
		品名
		數量
		買入代價
		消却ノ理由
		全上年月日

(第十一號樣式)

借入金臺帳

法方還償定豫			備考	借入金額	借入先	借入ノ目的	決議年月日
過經還償							
		年月日					
		元金		利率		償還財源	借入年月日
		利息額					

○ 告 示

○和歌山縣告示第一號

大正五年十二月二十九日左記耕地整理組合ノ設立ヲ認可セリ

大正六年一月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

一、組合ノ名稱
二、組合ノ區域

日高郡比井崎村大字阿尾耕地整理組合
日高郡比井崎村大字阿尾地内

○和歌山縣告示第二號

明治三十年^三月法律第二十七號阿片法第五條ニ依リ左記ノ者ヲ阿片卸賣人ト指定ス

大正六年一月九日

記

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

和歌山市寄合町二番地

藥劑師 増本 幹吉

○和歌山縣告示第三號

和歌山市寄合町二番地
阿片卸賣人 松井正造
右今般廢業ノ旨届出ニ付本日其ノ阿片卸賣人ノ指定ヲ取消ス

大正六年一月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣告示第四號

左記狩獵免狀遺失ノ旨届出タリ

大正六年一月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

番 號	種 類	遺 失 月 日	遺 失 場 所	住 所	氏 名
古第九〇號	乙種	大正五年十二月二十一日	東牟婁郡明神村大字中崎ノ山林内	全上大字二四四番地	奥 德 藏

○和歌山縣告示第五號

虎列拉豫防ノ爲施行中ノ船舶檢疫廢止ノ旨左ノ通靜岡縣ヨリ通知アリタリ
大正六年一月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

一、静岡縣告示第四百四十七號

大正五年八月八日 静岡縣告示第二百七十九號 虎列刺病豫防ノ爲船舶檢疫施行ニ關スル件ハ大正五年十二月

二十五日限り之ヲ廢止ス

大正五年十二月二十三日

静岡縣知事

安河内麻吉

○和歌山縣告示第六號

虎列拉豫防ノ爲施行中ノ船舶檢疫廢止ノ旨左ノ通三重縣ヨリ通知アリタリ

大正六年一月九日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

記

一、三重縣 虎列拉豫防ノ爲メ縣下鳥羽港尾鷲港賢崎港及四日市港ニ於テ施行スル船舶檢疫ハ十二

月二十五日限り廢止候條御了知相成度候

○和歌山縣告示第七號

静岡縣外三縣ニ於ケル虎列拉病豫防ニ關スル左記縣令ハ何レモ廢止ノ旨通知アリタリ

大正六年一月九日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

記

縣名	廢止月日	縣令要旨
靜岡縣	十一月十七日	千葉、神奈川兩縣ニ對スル生魚介類搬入停止ノ件
全縣	十一月十八日	縣令第四十四號漁撈其ノ他ノ行爲停止ノ件
全縣	十二月二十七日	生魚介類搬入停止ノ件
福岡縣	十一月十七日	魚類鯨類移入禁停止ノ件
全縣	十一月二十日	博多停車場ニ於ケル汽車檢疫ノ件
全縣	全月全日	門司、大牟田、三池、若津、博多、小倉港船舶檢疫ノ件
愛知縣	十一月十八日	九月十六日縣令號外漁撈等禁止ノ件
香川縣	十一月二十八日	高松、多度津、坂手各港船舶檢疫ノ件

○和歌山縣告示第八號

奈良縣添上郡佐和村大字法蓮ニ於テ十二月二十二日和種牡牛一頭屠殺懷診ノ結果炭疽ト決定シタル旨通知アリタリ

大正六年一月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣告示第九號

左記自轉車鑑札紛失ノ旨届出ニ依リ自今無効トス
大正六年一月九日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

鑑札番號

紛失年月日

住 所

氏 名

那第 八七七	大正五年十一月二十三日	東野上村大字動木	三田勝一郎
西第 三七七	十一月一日	田並村	小野 茂
西第 二〇〇	十一月十三日	田邊町大字本町	濱口長藏
和第一三七四	九月二十九日	和歌山市岡山町	打田龜楠
全 一四〇九	九月八日	全東坂ノ上丁	近藤邦助
全 一四六七	九月三十日	湊北町	内海弘雄
全 一一九六	九月二十三日	十二番丁	山本 武右衛門
全 四一	十月四日	新堀井戸ノ丁	勝野 信吉
全 五七四	十月五日	十番町	坂本市太郎
全 九六〇	不詳	東紺屋町	古金孫四郎
全 一五七六	九月二十一日	駕町	石桁雅五郎
全 一一六七	九月十三日	北新五丁目	中谷陶次郎
全 七六一	九月二十一日	新界町	貴志安之助
全 一九五五	九月三十日	本町三丁目	才賀 豐吉
全 一一九七	十一月十四日	橋向町	岡崎樹太郎
全 一三二八	十一月二十三日	新通五丁目	太田直吉
全 一五三九	十一月二十七日	新中通一丁目	岩橋庄助

○町村吏ノ員異動

○大正五年十二月二十六日就職認可

那賀郡猿川村助役

南

芳 藏

○大正五年十二月二十七日認可

海草郡鹽津村有給村長 恆本光之助
西牟婁郡栗栖川村助役 那須久吉

○彙報

○術生

○自十二月一日至十二月十日北野上村「トラホーム」患者治療旬報

種別	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	合計
生徒患者											
其他患者	五	四	三	三	五	四	四	六	四	五	四三
計	五	四	三	三	五	四	四	六	四	五	

○自十二月十一日至十二月廿日田邊町「トラホーム」患者治療旬報

種別	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	合計
生徒患者	十一	一二	一四	一五	一	一四	一	一四	一三	一四	一二三
其他患者	五七	五一	六〇	三七	六〇	五六	一	五一	四五	四六	四六三
計	六九	六四	七四	五二	六〇	七〇	一	六五	五八	六〇	五八六

○ 正 誤

大正五年十二月二十二日縣令第五四號

大正六年度縣稅營業稅雜稅課目課額中正誤

頁數

箇所

誤

正

三頁

飲食店ノ下

段屋、鋤燒屋、何々、何々、

(段屋、鋤燒屋、何々、何々)

十八頁

一等樂職工名中

金銀、龍甲、玉石骨角細工職工

金銀龍甲玉石骨角細工職工

十九頁

三等樂職工名中

綿子、紋羽毛掻職

綿子、紋羽毛掻職

右

大正六年一月八日印刷
大正六年一月九日發行
每月六圓日金曜日發行

和歌山縣知事官房

印刷所 和歌山市本町二丁目三番地
發行所 和歌山市本町二丁目三番地
江川印刷部